

**慶應義塾大学ビジネス・スクール**

**アルセロール・ミタル**  
**— 買収をめぐる攻防 —**

5

ミタル・スチールによるアルセロールへのTOB（株式公開買い付け）開始以来、アルセロール買収を巡る攻防は、激しさを増す一方であった。ミタル・スチールの提案は現金と株式交換を組み合わせた内容となっており、両社は、将来の成長戦略、買収金額、全体の買収金額に占める現金と株式交換の比率及びミタル・スチール株とアルセロール株の交換比率を中心に、アルセロール株主の支持を取り付けようと懸命であった。

10

**TOB（株式公開買い付け）を巡る攻防**

15

**5月18日～5月21日**

鉄鋼世界最大手ミタル・スチール（オランダ）は2006年5月18日に同二位アルセロール（ルクセンブルク）の6月末を期限とするTOBを始めた。同日、ラクシュミ・ミタル会長は「（アルセロールの）株主が我々の買収提案の価値やメリットについて決断できる機会がやってきた。鉄鋼産業再編の必要性を理解してくれるはずだ」との声明を発表したが、翌19日には買収額を3割以上引き上げ、現金部分の比率を上げた新買収提案を発表した。

20

**[5/18 ミタル・スチールによるアルセロール買収条件]**

25

- ミタル・スチール株4株と35.25ユーロ（約5千円）をアルセロール株5株と交換
- 期限は2006年6月29日
- ミタル・スチールの株価から算出した買収総額は当初、186億ユーロ（約2兆6千億円）だったが、

本ケースは慶應義塾大学ビジネススクールの海外ケース作成プランと経営研究所の支援とアルセロール社の協力により、同大学大学院経営管理研究科 許斐義信教授の指導の下、同研究科の吉森克人が作成した。

30

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8523 神奈川県横浜市港北区日吉本町2丁目1番1号、電話045-564-2444、e-mail:case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は<http://www.kbs.keio.ac.jp/> 慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

Copyright© 許斐義信（2007年6月作成，2008年3月改訂）